

課題	令和2年度の会議で出た対策・アイデア	令和2年度の方向性	意見 次回までの取り組み
4	<p>「今週のコロナニュース」(公立陶生病院)のような専門性の高い情報を電子@連絡帳の広域連携を利用して共有、発信する。</p> <p>コロナ対策だけでなく、予防の観点では口腔衛生、認知症予防、栄養指導、リハ/運動指導、補助など他の地域の専門職に情報発信を依頼、参加する方式が考えられる。外部の人材資源も活用しつつ、好きな時間で専門職のリテラシーアップを期待できる方法として応用活用が考えられる。</p> <p>顔のわかる専門職が情報を発信する、あるいは広域連携で繋がった他地域の専門職にお願いすることはコスト負担も低く、効果が期待できる。</p>	<p>公立陶生病院の今週のコロナニュースのような専門性の高い情報発信を行う。</p> <p>医師会や各団体で検討していく。</p> <p>進捗状況を、次回会議の1か月前に確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な情報を出すことは難しい。 専門職同士が、質問しあうことも大切。レインボーネット各々質問しあえるとうい。 レインボーネットの北名古屋市在宅医療連携協議会のプロジェクトを活用してはどうか。